

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ギター製作概論Ⅱ-A		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	45分（1単位時間45分）	年間授業数	75回（75単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	ギタークラフト科2年制ギター製作コース ギタークラフト科3年制ギター製作総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
ギター・ベースギターの種類は構造上大きく2つ、細かくは5つに分類される。それぞれの特徴的な加工方法や手順があるため、種類ごとの製法を学ぶ。					
到達目標					
完全オリジナル作品を製作するための知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～37回目 【後期】 38～75回目	在学中における3作品目以降は自由製作であり、選択した製作モデル毎に分けて講義を行う。 ・ソリッドモデル ①デタッチャブルモデル ②セットネックモデル ③スルーネックモデル ・アコースティックモデル ④フルアコースティックモデル ⑤フラットトップアコースティックモデル 以上5つに分類される構造から、希望するモデルを選択し、その工法を学ぶ。 内容はそれぞれのモデルに合った作業工程を「ギター製作概論Ⅰ」と同様に行う。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	より高度な楽器の製作方法について構造別に学び、実習に活かしていきます。
使用教科書	初回に配布する独自の教科書を使用。回によってテキストの追加配布を行う。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ギター製作Ⅱ-A		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	45分（1単位時間45分）	年間授業数	737回（737単位時間）	年間単位数	24単位
科目設置学科コース	ギタークラフト科2年制ギター製作コース ギタークラフト科3年制ギター製作総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：8年 都内にて個人工房(ギターとベースの製作、修理業)を経営中。				
授業概要					
ギター、ベースギター(ソリッドモデルまたはアコースティックモデル)の製作を行う。					
到達目標					
各々の目標を設定した技能向上、および新工法の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～368回目	（2年次1本目） ラフスケッチ 製図
	木工加工(ネック) 木工加工(ボディ)
	塗装 配線
	組み込み 調整
【後期】 369～737回目	（2年次2本目） ラフスケッチ 製図
	木工加工(ネック) 木工加工(ボディ)
	塗装 配線
	組み込み 調整
備考	作業進行が速い場合、2年次3本目以降の製作も可能。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	講義で得た知識、他の実習で得た技術を利用して製作を行っていきます。
使用教科書	初回に配布する独自の教科書を使用。回によってテキストの追加配布を行う。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ギタークラフト実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習 必修						
			年次	2年次						
授業時間	180分（1単位時間45分）	年間授業数	11回（44単位時間）	年間単位数	2単位					
科目設置学科コース	ギタークラフト科2年制ギター製作コース ギタークラフト科3年制ギター製作総合コース									
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒									
担当講師 実務経歴										
授業概要										
協力企業を招いた技術、知識のセミナーや企業見学。ライブイベントや作品展、コンテストへの参加。										
到達目標										
ギター、ベースギターに製品として求められる品質を、多角的に考えられる思考を身につける。										

授業計画・内容	
【前期】 1回目	企業見学：ギター製造工場(株)イー・エス・ピー
【前期】 2回目	企業特別セミナーA：技術講習(株)イー・エス・ピー
【前期】 3回目	企業特別セミナーB：卒業生による業界知識、製品知識
【前期】 4回目	ライブ演習
【後期】 5～9回目	イーエスピー学園主催イベント①～⑤
【後期】 10回目	企業セミナーC：アーティストによる作品試奏、アドバイス
【後期】 11回目	ギタークラフトエキシビジョンマッチ
備考	企業セミナーB～Cの協力企業は年度ごとに違う場合あり。
評価方法	平常点（参加状況、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	メーカーや商社から技術、知識を直接学び、業界に触れることは非常に重要な経験になります。ユーザーと楽器の関係性、商品価値の捉え方など、様々な考え方を吸収しましょう。
使用教科書	回によって資料を配布。